



添乗員同行/最少催行人員15名

戦中・戦後の沖縄

出発日：10/25（土）

G.伊江島とヌチドゥタカラの家

日程 ○下車観光 ◎入場観光

- 県庁北口（7：50）
- 中部商業高校前（8：20）
- 中の町（8：40）
- 農民研修センター（9：00）

～途中、休憩を取りながら、本部港へご案内いたします。

10：30 本部港着 11：00発フェリーに乗船

～伊江島までのフェリー乗船時間は約30分～

伊江島歴史巡りへご案内（順番は状況により変わります）

○ニーバンガズイマール

二年間も敗戦を知らず米軍から隠れるため二人の日本兵が潜んでいた ガジュマルの木。この実話は舞台「木の上の軍隊」として上演されました。

○公益質屋跡

戦争の激しさを物語る砲弾跡が生々しく当時の姿を残しています。

○千人洞ニヤティヤ

戦争中は住民の防空壕として利用され、多くの人を収容した事から「千人洞（ガマ）」とも呼ばれています。

○アニーパイル記念碑等（車窓）

世界的に有名な従軍記者アーニーパイルは伊江島の銃撃に倒れた。その跡地に米軍によって記念碑を建立されました。

○団結道場

米軍に土地を奪われた伊江島の住民は阿波根昌鴻を筆頭に「伊江島土地を守る会」を結成するとともに「団結道場」を建設し戦いを引き継ぐ多くの青年を教育してきた場所。

◎ヌチドゥタカラの家

戦争中の生活品や遺品、米軍の銃弾など、戦争を記録する反戦平和資料館。阿波根昌鴻氏は悲しい戦争の体験から平和を願い設立されました。

○城山（ぐすくやま・伊江島タッチュー）

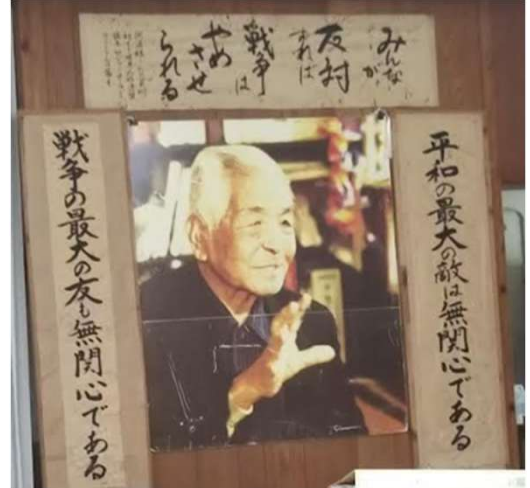
伊江島のシンボル伊江島タッチュー。高さ172m、頂上からは伊江島の島の全景がご覧いただけます。伊江島ジェラートがここで食べられます！

16：00 伊江島港発→フェリーにて今帰仁村・本部港へ

16：30 本部着 ～各地着～（県庁北口19：00頃予定）

※昼食はお弁当をご用意いたします！

阿波根昌鴻氏



平和の最大の敵は無関心である。
戦争の最大の友も無関心である。

※写真はヌチドゥタカラの家）

1901年本部町に生まれる。成人してから伊江島に移住し結婚。戦後、伊江島の土地が米軍に強制接収され、農民は土地がないと生きていけないと、反対運動の先頭に立った。一貫して非暴力を訴え「乞食行進」を行い米軍の不当性を訴え、「島ぐるみ闘争」にも影響を与えた。伊江島補助飛行場に土地を所有し、復帰後も日本政府との賃貸契約を拒否しつづけた。1984年に自宅敷地内に自費にて「ヌチドゥタカラの家」を建設し、平和の尊さを訴え続けた。2002年3月没。享年101歳。

ご旅行代金

大人 16,000円

小中高生 14,000円

【ご旅行条件書（抜粋）全コース共通】

※すべてのコースに平和ガイド、専門家のご案内いたします。

※スケジュールは交通状況により前後する場合もございます。ご了承ください。

※悪天候により、コースの変更または中止になる場合があります

※予定の乗降場所以外での乗車、下車はできませんので予めご了承ください。

※お申し込みの際には、全文が記載されたご旅行条件書をお読みください。

※掲載した写真やイラストは旅行のイメージです。ご参考にさせていただきます。

お客様のご都合により、ご予約を変更、キャンセルされる場合は、下記キャンセル料または変更手数料を頂戴いたします。なお、ご返金の際の振込手数料はお客様ご負担となりますので、ご了承下さい。

ご利用日の前日より起算して10日～8日前・・・代金の20%

ご利用日の前日より起算して7日～2日前・・・代金の30%

ご利用日の前日・・・代金の50%

ご利用日当日、無連絡不参加・・・代金の100%

※利用バス会社 ゆいバス・東京バス